

## あいおいニッセイ同和損害保険(株)からの寄附金の贈呈について

今年度もあいおいニッセイ同和損害保険株式会社から、地域貢献・社会貢献活動として、本協議会の「ふしの干潟いきもの募金」に150万円の寄附金をいただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、協議会を書面開催することとしたため、協議会の前に寄附金の贈呈式をおこないました。

1 日 時 令和3年2月12日(金) 11:00～11:30

2 場 所 山口県庁共用第2会議室 (山口市滝町1番1号)

3 出席者	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社山口支店	支店長	佐藤 大助
	あいおいニッセイ同和山口支店プロ会	会長	宮下 香津恵
	榎野川河口域・干潟自然再生協議会	会長	浮田 正夫
	山口県環境生活部	部次長	徳重 克彦
	山口市環境部	部長	山田 喜一郎

### 4 次 第

- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社佐藤支店長あいさつ
- ・榎野川河口域・干潟自然再生協議会浮田会長あいさつ
- ・山口県環境生活部徳重部次長あいさつ
- ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から寄附金目録の贈呈
- ・榎野川河口域・干潟自然再生協議会から感謝状の贈呈
- ・記念撮影

### 5 取 材

- ・山口ケーブルビジョン (2/12～2/12放送)
- ・山口新聞 (2/13記事)
- ・宇部日報 (2/16記事)

**榎野川再生協に  
50万円を寄付**  
あいおいニッセイ同和損保



あいおいニッセイ同和損保 書保険山口支店（佐藤大助 支店長）は12日、環境保全活動に取り組む榎野川河口域・干潟自然再生協議会（浮田正夫会長）に150万円を寄付した。

企業全体で取り組む地域貢献活動の一つ。保険証券などのペーパーレス化の普及に並び、2018年度から毎年150万円を協議会へ寄付している。県庁で贈呈式があり、佐藤支店長が浮田会長に目録を手渡し「地域に根差した環境保護活動を展開したい」と述べた。

協議会は寄付金を、カブトガニやアサリをはじめとする生物の生息環境保全のほか、調査研究、子どもたちの環境学習といった活動費に充てる。浮田会長は佐藤支店長に感謝状を手渡し、「より一層自然の再生が進むことを願う」と話した。

同支店や協議会などは19年2月に榎野川流域の再生活動に関する連携協定を結んだ。

（左）12日、県庁（岩崎新）

**環境保全活動に寄付**  
あいおいニッセイ同和



あいおいニッセイ同和 損保（金杉恭三社長、本社東京都）は12日、地域貢献・社会貢献活動として、榎野川河口域・干潟自然再生協議会（会長・浮田正夫山口大名誉教授）に150万円を寄付した。

同損保山口支店と代理

店をつくるあいおいニッセイ同和山口支店プロセキ同協議会、行政機関などとは、山口市を流域とする榎野川や山口湾の環境保全充実に向けて、2019年に連携協定を結んだ。以降、同損保は毎年活動資金を提供している。

贈呈式は県庁で行われた。山口支店の佐藤大助支店長は「全国のお客さんに保険証券や保険約款のペーパーレス化に協力いただき、圧縮したコストを原資にして全国の団体に寄付させていきたい。引き続き地域に根差した活動をしていきたい」とあいさつ。目録を受け取った浮田会長は「15年以上活動を続けてきたが、資金提供により活動の幅が広がった。新型コロナウイルスの影響で多くのボランティアを集められないが、できることを柔軟に考え、里海の再生に取り組んでいきたい」と謝辞を述べ、感謝状を贈った。式にはプロセキの宮下香津恵会長らも同席した。

（古里）

【令和3年2月12日～13日 山口ケーブルビジョン「まちかどNEWS」】



【集合写真】

